

# 学校だより

四日市立八郷小学校発  
平成23年9月27日発行

《 No.15 》

## 【CRT全国学力調査の結果】（5年生・4年生・3年生）

今年度は、文部科学省が実施している6年生の全国学力状況調査が中止になり、3年生～5年生のCRT全国学力調査の実施のみとなりました。

例年、このCRT調査を実施する意図は、6年生だけでなく、本校児童の前年度の学習がどれだけ定着しているかを調査し、教育課程や指導の改善を図り、確かな学力を育成するためです。今年度の結果は、以下のとおりです。



### 《本校の全体的な傾向と指導改善に向けて》

#### 国語科での本校の強み・弱み

- 強み ○ 漢字の書き取り、読み取りの基本的な力は定着している。  
○ 文章に書かれている内容の順序を正しくとらえている。
- 弱み ▲ 長文を聞いて課題に答える、長文を読んで課題に答えるなど、話の中心をとらえたり、素早く内容を読み取ったりすることを苦手としている。  
▲ ひとつの問題にこだわり、テスト形式の調査では、最後まで終わらない場合がある。

#### 算数科での本校の強み・弱み

- 強み ○ 四則計算（足し算・引き算・掛け算・割り算）に優れている。  
○ 算数を理解していない子どもの割合が低い。
- 弱み ▲ 単位の換算の定着率が低い。  
▲ 図形などの定義の理解、定義を活用した問題解決力が弱い。

### 《学校として重点的な取組み》

- ① 「耳で聞いて書く」という機会を多く取る必要がある。  
例えば、明日の予定を聞いて書く。友達の話のメモを取るなど
- ② 反復練習を多くし、速く・正しく、そして、数多くの問題に取組ませる必要がある。
- ③ テストの仕方などのテクニック的な指導が必要である。
- ④ 長文の読み、作文に慣れさせる必要がある。

上記のような取組みを通して、子どもたちの力を伸ばす必要がある。そのためにも、日々の授業の充実だけでなく、「朝の学習の進め方」「家庭学習の課題の与え方」など、学力の土台づくり、基礎づくりをていねいに指導していきたいと考えています。

### 《各学年の状況》

#### <5年生国語科>

##### 良い点

- 文章の特徴に注意して読む
- 辞書の使い方、漢字を正しく覚えて使う

##### 弱い点

- ▲ ローマ字の読み書き
- ▲ 耳で聞いた長文から答える問題

#### <5年生算数科>

##### 良い点

- 整数や少数の計算や面積の計算
- 長方形・正方形の面積、展開図の思考

##### 弱い点

- ▲ 分数の計算、四捨五入の仕方
- ▲ 角度を求める

### 今後の手立て

- 国語
- ・ 良い点を活かした指導を進めることで、苦手意識を無くすような指導法を工夫する。
  - ・ 表件の工夫、表現の効果を考えさせるために、作文やスピーチなど、個々の良さを、全員で確かめ合う指導を進める。

**裏面に続きます**

- 算数**
- ・ 今まで学習してきた内容を定着させ、確かなものにするため、朝の学習でのドリル・プリントの活用を進める、
  - ・ 授業始めの5分間を基礎基本の定着のために活用する。

#### < 4年生国語 >

##### 良い点

- 漢字の力が定着している
- 文章の特徴に即した読み取り

##### 弱い点

- ▲ 長い文を読んで文章がどのような構成されているかの理解
- ▲ 動詞・名詞などの違いの理解

#### < 4年生算数 >

##### 良い点

- かけ算・わり算、小数の計算
- 表やグラフの読み取り

##### 弱い点

- ▲ 分数の計算
- ▲ 単位の換算

#### 今後の手立て

- 国語**
- ・ 説明文教材での「形式段落要点の把握」「意味段落の把握」を繰り返し指導し、文章構成を理解させる。
  - ・ 構成のしっかりしたスピーチの原稿を書かせる。
- 算数**
- ・ 分数計算を重点的に指導する。
  - ・ 「円」「球」などの問題を数多く解かせるため、朝の学習、家庭学習に力を入れる。

#### < 3年生国語 >

##### 良い点

- 関心・意欲が高い
- カタカナを正しく表記し、知らせたいことを選んで話す

##### 弱い点

- ▲ 順序や場面の読み取り
- ▲ 無回答、最後まで出来ていない子がいる

#### < 3年生算数 >

##### 良い点

- 「九九」の定着している。
- 時刻や時間違いの理解

##### 弱い点

- ▲ 単位の換算、4けたの数の仕組み
- ▲ 色板を使ったり、直角を求めたりする

#### 今後の手立て

- 国語**
- ・ 基礎的な力を定着させるとともに、問題を解く速さをあげるために、ドリル・プリントを使い、数多くの問題を解かせる。
  - ・ 読み取りの学習では、語句や接続詞に注目させる指導を重視し、語彙力を増やす。
- 算数**
- ・ 朝の学習の時間を使っての基礎的内容の定着に力を入れる。
  - ・ 個々の子どもたちの評価をていねいに行い、数学的な思考力を高める。そのための指導方法や内容を工夫する。



#### 〔校内全体研究授業〕

5Aの学級で、指導主事を招いての全体研究授業を行いました。4人グループの全てに、ホワイトボードを与え、自分の考えを明らかにしながら、グループの考えをまとめていくという活動を取り入れました。

子ども同士の学び合う授業を目指し、グループとしての考えを明確にしていくために、ホワイトボードの有効性が明らかになりましたが、学習記録として残す方法、グループ学習としての課題の設定、時間の配分など、今後も検討・研究をしていく必要がある

ことが確認されました。